

ソフトゼミⅤ 第1回 printf 補足

Ⅴ (ターンA) って何？

ゼミAが終わってしまって時間が余っている、という方のための補足説明をいたします。他にはできる人向けの応用問題も気が向いたら用意していこうと思います。補足事項や班長の時間に余裕がないと作らないので不定期でお送りしてまいります。当然ながらⅤはやらなくてもゼミの進行に支障はございません、腕試しなどにどうぞ。

printf 補足

printf による出力はできましたが、ターンAでは行数をそろえたい場合や double 型の変数を出力するときに小数点以下が長々と出力されるのは嫌だ！という場合の対処法を教えたいと思います。

まず行数をそろえる場合ですが、たとえば改行して 10 と 100 の値を出行する際に左揃えではなく右揃えにそろえたいという場合に使えます。使い方は簡単で

```
printf("a=%3d¥nb=%3d",10,100);
```

というように%と d の間に揃えたい桁数を入力することで簡単にそろえることができます。今現在ではあまりメリットが見られないように思いますが、今後 for 文などで知らないうちに桁数が上がってしまうことも多々あるので、その時に出力結果を見やすくする際に役立つと思います。

double 型の変数を出力する際に%f で出力することは習いましたが実際に出力してみると、たとえば “double = 3.14; “と代入して出力しようとする と 3.140000000...と出力されてしまうと思います。そこで精度指定という技術が必要になってきます。

これも使い方は簡単で

```
double d=3.14;  
printf("%4.2f",d);
```

と入力します。この中の%4.2f ですが、初めの 4 は出力する全文字数を、後ろの 2 は小数点以下の出力する数を示しています。この全文字数には “.” も含まれているので注意してください。